

平成19年度

第3回区政モニターアンケート
調査報告書

《介護と介護予防に関するアンケート》

平成19年11月

足立区政策経営部区政相談課

目 次

調査の概要	2
要 旨	4
問 1 モニターの皆さまの健康について	6
問 2 健康のために気をつけていること	6
問 3 健康・介護に関する情報の入手先	7
問 4 健康・介護に関して知りたいこと	7
問 5 支えてくれる家族・知人の存在	8
問 6 支えてくれる家族・知人との距離	8
問 7 介護を必要とする状態になることへの不安	9
問 8 介護療養先及び介護する方についての希望	9
問 9 介護保険制度について知っていること	10
問10 介護保険制度開始に伴う効果	10
問11 介護保険料について思うこと	11
問12 介護サービスの利用者負担について思うこと	11
問13 介護予防について思うこと	12
問14 参加したい介護予防事業	12
問15 地域包括支援センターの業務について	13
問16 今後区に望む高齢者施策	13
問17 介護及び介護予防に関する区への意見・要望	14
調 査 票	20
集 計 表	27

1 調査の概要

この報告書は、平成19年度第3回区政モニターアンケート「介護及び介護予防に関するアンケート」をまとめたものです。

2 調査目的

介護保険法で、各自治体は、3年を1期とする介護保険事業計画を作成することと定められている。足立区においても、平成21年から23年までの介護保険事業計画の策定に取り組むこととなり、その参考資料とするために区政モニターアンケートを実施する。

3 実施時期

平成19年11月21日～12月4日

4 対象者数、回答者数

対象者 157人 回答者 148人

5 調査方法（調査票の送付・送信方法と回答者の人数）

・郵便 118人 ・インターネット 30人

6 回答者の構成

（1）地域ブロック・男女・調査方法別

	1ブロック			2ブロック			3ブロック			4ブロック			5ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	3	15	18	0	6	6	2	6	8	1	4	5	3	11	14
インターネット	2	0	2	1	1	2	0	2	2	1	1	2	0	3	3
合計	5	15	20	1	7	8	2	8	10	2	5	7	3	14	17

	6ブロック			7ブロック			8ブロック			9ブロック			10ブロック		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	2	11	13	1	3	4	2	6	8	1	7	8	3	6	9
インターネット	1	3	4	0	2	2	0	2	2	0	1	1	1	0	1
合計	3	14	17	1	5	6	2	8	10	1	8	9	4	6	10

	11ブロック			12ブロック			13ブロック			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	4	7	11	0	6	6	1	7	8	23	95	118
インターネット	2	3	5	2	0	2	0	2	2	10	20	30
合計	6	10	16	2	6	8	1	9	10	33	115	148

(2) 年代・男女・調査方法別

	20代			30代			40代			50代			60代		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	5	6	2	35	37	1	15	16	1	22	23	9	10	19
インターネット	1	5	6	2	7	9	2	7	9	2	0	2	0	0	0
合計	2	10	12	4	42	46	3	22	25	3	22	25	9	10	19

	70代			80代			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	9	8	17	0	0	0	23	95	118
インターネット	3	1	4	0	0	0	10	20	30
合計	12	9	21	0	0	0	33	115	148

(3) 職業・男女・調査方法別

	パート・アルバイト			学 生			自営業・家族従業			主 婦			常 勤		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	1	18	19	0	0	0	2	4	6	0	55	55	6	13	19
インターネット	0	4	4	1	0	1	2	1	3	0	11	11	3	1	4
合計	1	22	23	1	0	1	4	5	9	0	66	66	9	14	23

	無 職			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計
郵便	14	5	19	23	95	118
インターネット	4	3	7	10	20	30
合計	18	8	26	33	115	148

7 調査結果・分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100%に満たないまたは上回ることがあります。

また、記述意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しています。

要 旨

特に指定のない限り148人に聞きました。

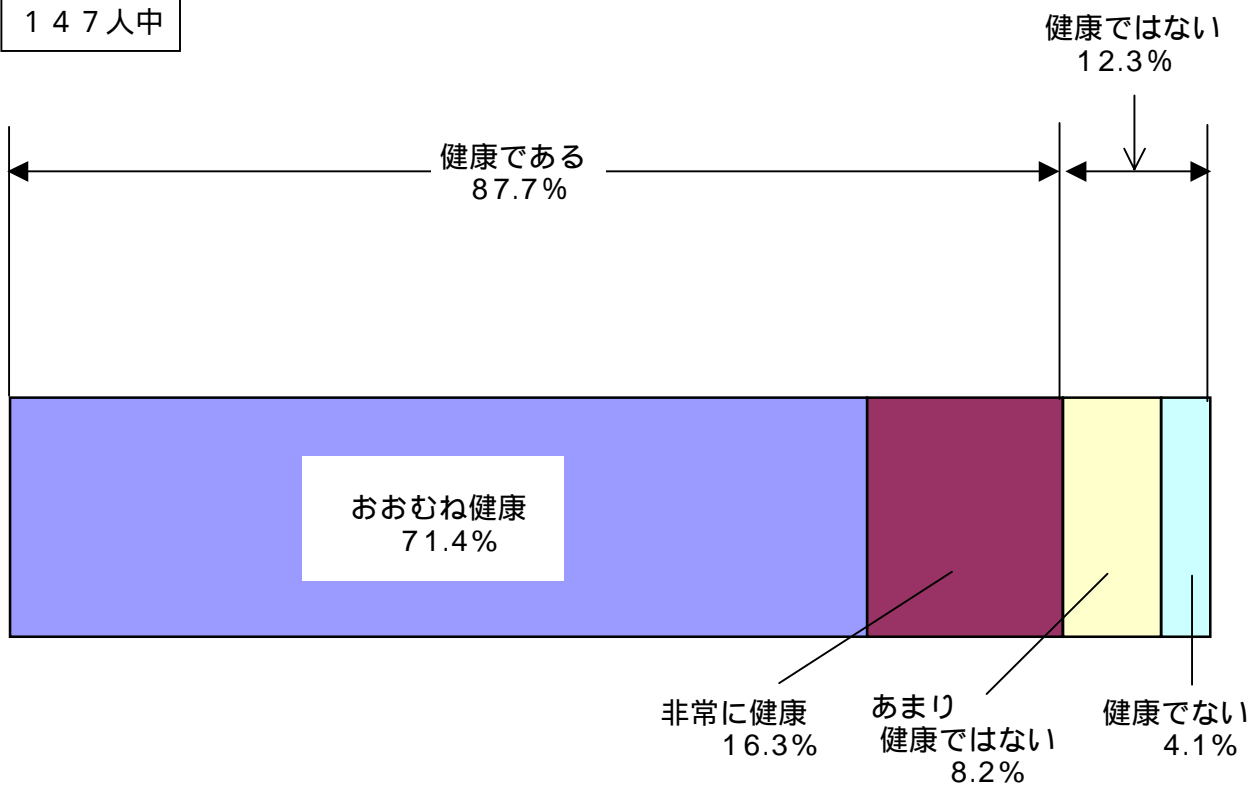
問1	モニターの皆さまの健康について(147人中)		
	健康である(選択肢1及び2)	87.7%	(129人)
	健康ではない(選択肢3及び4)	12.3%	(18人)
問2	健康のために気をつけていること(複数回答)		
	栄養のバランスなど食事に気をつけている	69.6%	(103人)
	散歩やジョギング、体操など日頃から運動をしている	20.9%	(31人)
	歯や口腔の健康に気をつけている	15.5%	(23人)
問3	健康・介護に関する情報の入手先(複数回答)		
	あだち広報	81.8%	(121人)
	新聞・テレビ・ラジオ・雑誌	79.7%	(118人)
問4	健康・介護に関して知りたいこと(複数回答)		
	糖尿病や高血圧などの		
	生活習慣病にならないための工夫について	52.0%	(77人)
	介護予防(介護状態にならないように予防すること)について	50.0%	(74人)
問5	支えてくれる家族・知人との存在		
	いる	87.8%	(130人)
問6	支えてくれる家族・知人との距離(130人中)		
	同居している	50.8%	(66人)
	行き来できるところには住んでいない	6.2%	(8人)
問7	介護を必要とする状態になることへの不安(140人中)		
	不安を感じることもある(選択肢1及び2)	86.4%	(121人)
	不安を感じることはない(選択肢3及び4)	8.5%	(12人)
問8	介護療養先及び介護する方についての希望		
	在宅での介護を希望	48.0%	(71人)
	在宅より施設に入所して介護して欲しい	19.6%	(29人)
問9	介護保険制度について知っていること(複数回答)		
	介護サービスを受けるには、介護の必要度について		
	介護認定を受ける必要があること	77.0%	(114人)
	介護サービスを利用した場合、		
	費用の1割を利用者が負担すること	56.8%	(84人)

	65歳以上の方は、原則として		
	年金天引きの方法で介護保険料を納めていること	45.9%	(68人)
問10	介護保険制度開始に伴う効果(複数回答)		
	保険料の支払により負担が増えたと思う	54.1%	(80人)
	介護に関する負担が軽減されたと思う	38.5%	(57人)
問11	介護保険料について思うこと		
	高いと感じる	44.6%	(66人)
	おおむね妥当な金額だと思う	20.3%	(30人)
問12	介護サービスの利用者負担(1割)について思うこと		
	おおむね妥当な負担だと思う	48.6%	(72人)
	利用者はもう少し負担しても良いと思う	10.1%	(15人)
問13	介護予防について思うこと(複数回答)		
	日頃から一人一人が自分で予防に努めるべきだと思う	77.0%	(114人)
	介護予防について、もっと情報を提供して欲しい	74.3%	(110人)
問14	参加したい介護予防事業(複数回答)		
	認知症予防	74.3%	(110人)
	筋力向上トレーニング	65.5%	(97人)
	栄養改善	51.4%	(76人)
	口腔ケア	42.6%	(63人)
問15	地域包括支援センターの業務について(複数回答)		
	よくわからない	59.5%	(88人)
	福祉・施設入所・介護など		
	高齢者の総合相談窓口であること	28.4%	(42人)
問16	今後区に望む高齢者施策(複数回答)		
	ひとり暮らしの高齢者に対する援助	46.6%	(69人)
	家族等の介護者に対する援助	34.5%	(51人)
	高齢者が気楽に集まることのできる場の提供	13.5%	(20人)

問17は記述回答のため割愛

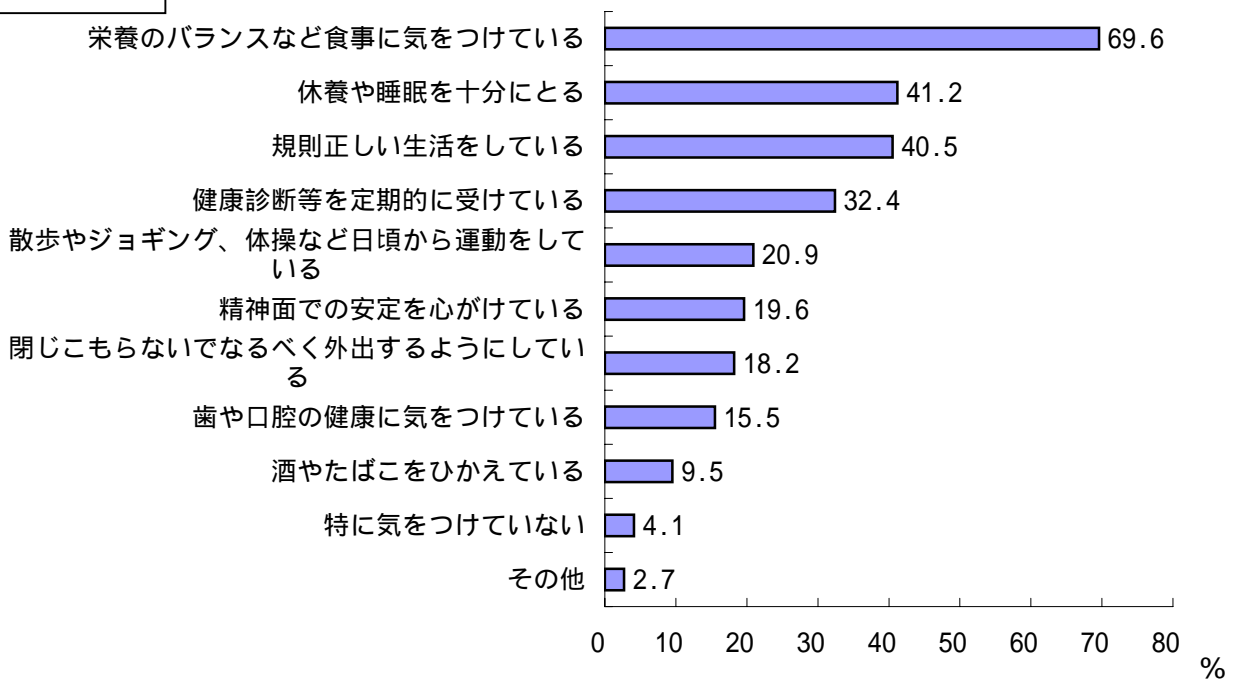
問1 現在、あなたは、ご自分で健康だと思いますか。
 (あてはまるもの1つだけをしてください)

147人中



問2 あなたが、普段、健康のために気をつけていることは何ですか。
 (特にあてはまるもの3つにをしてください)

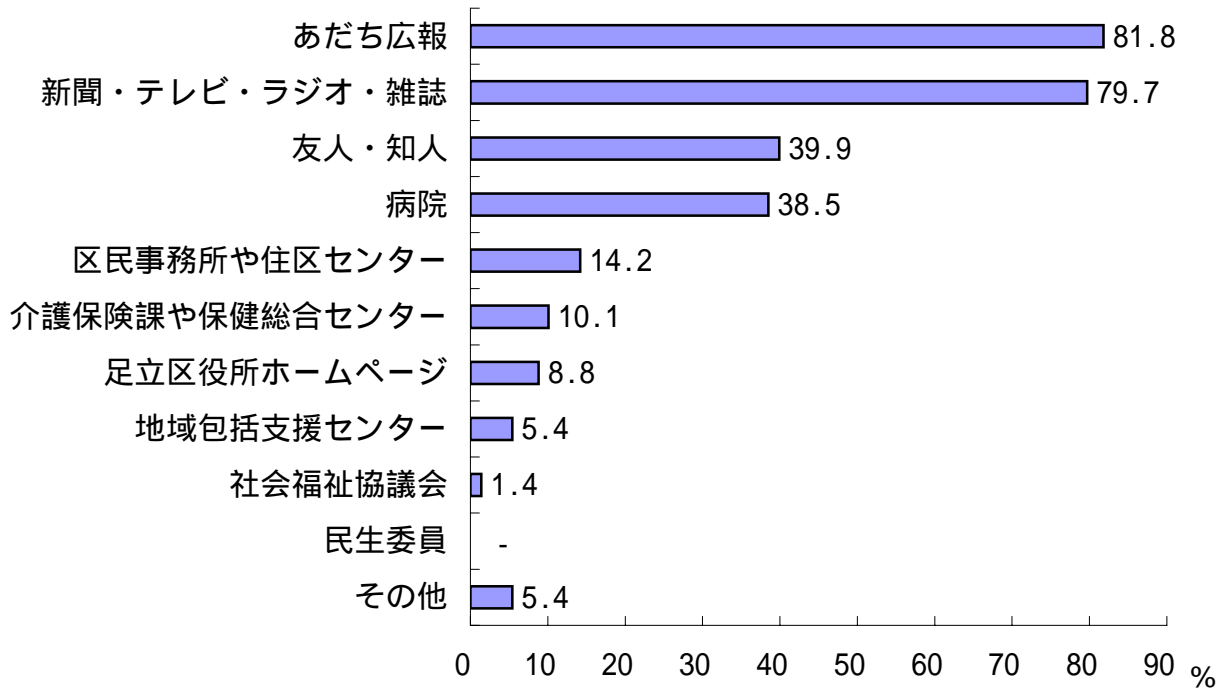
148人中



その他

・外食を控える・夫婦仲良く、ストレスを少なく・定期的に病院で検査を受ける・ウコンを飲む

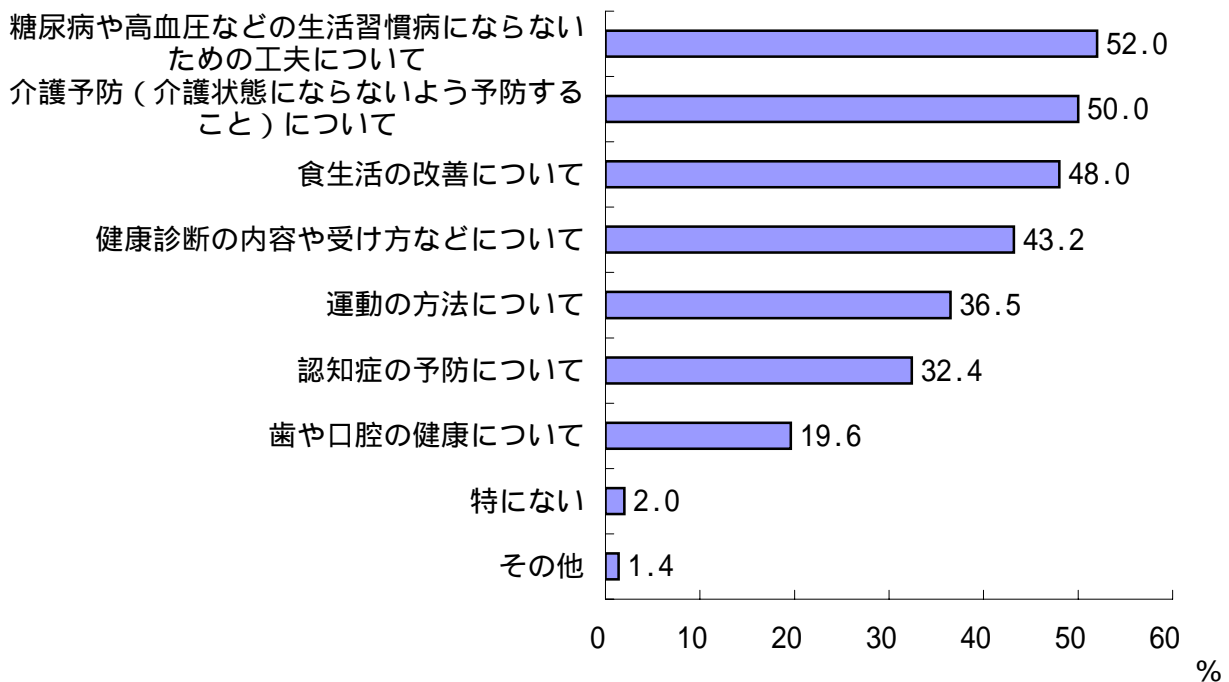
問3 あなたは、健康や介護に関する情報をどこで入手しますか。
 (特にあてはまるもの3つに をしてください)



その他
 ・インターネット・会社の健保・身内で介護を受けている人から・図書館

問4 あなたは、健康や介護についてどのようなことを知りたいですか。
 (特にあてはまるもの3つに をしてください)

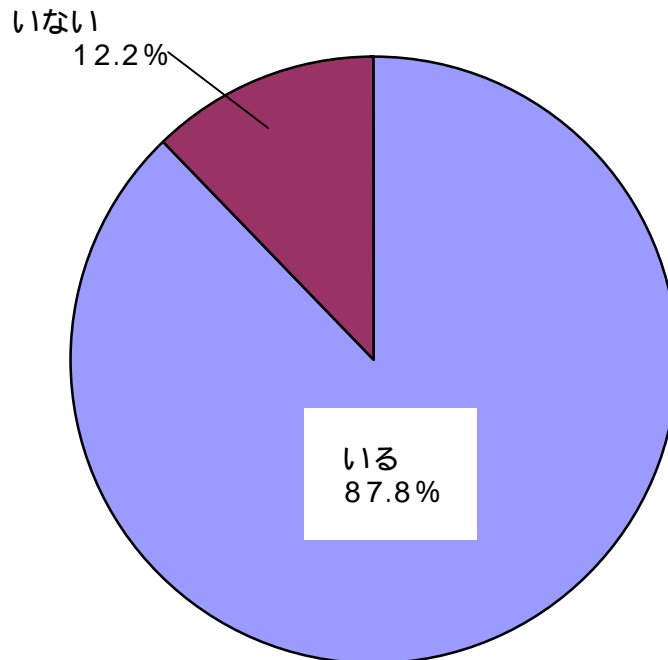
148人中



その他
 ・アレルギー(ぜんそく・アトピー)予防対策・死を待つまでの経緯

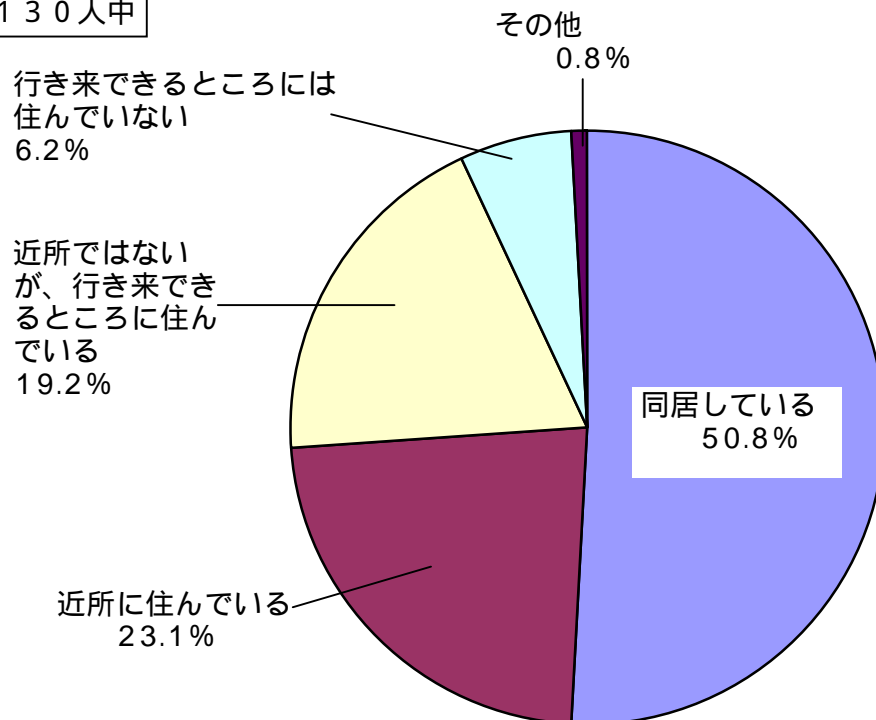
問5 あなたには、健康や介護のことで困った時、相談したい時などに、支えて（助けて）くれる家族・親族や知人・友人などがいますか。
（あてはまるもの1つだけ をしてください）

148人中



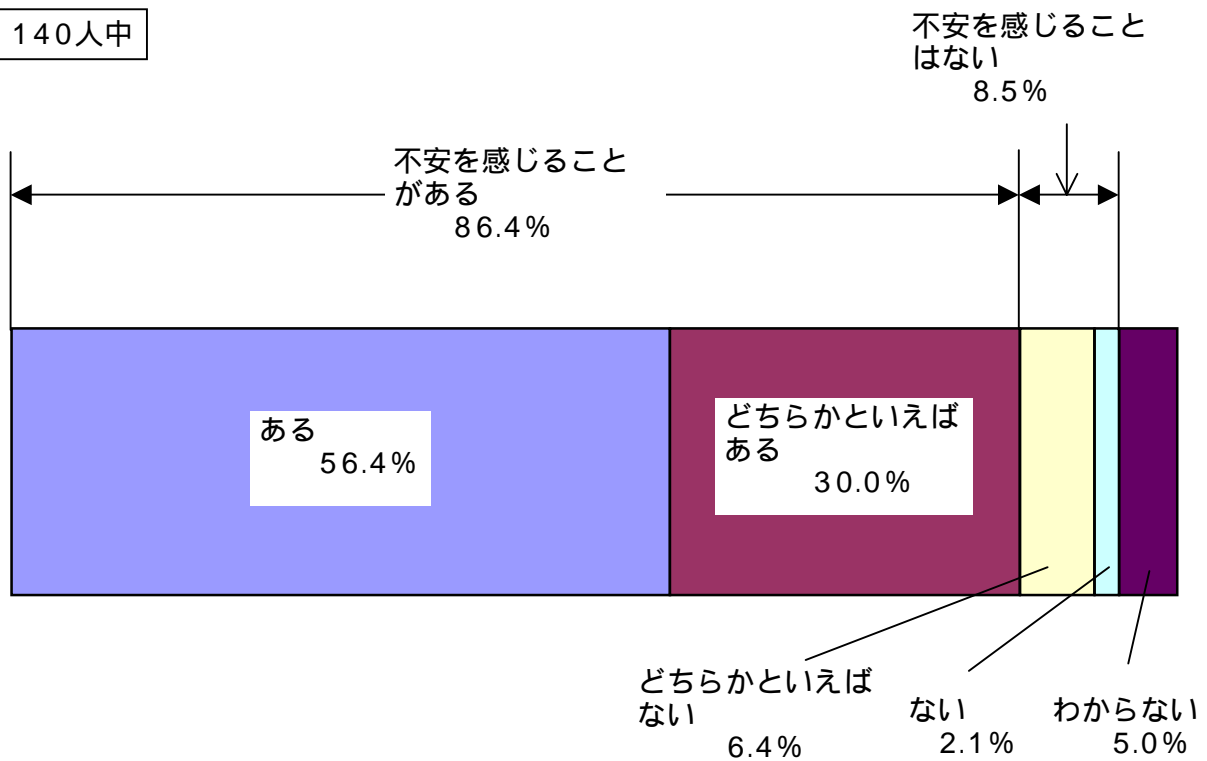
問6 問5で「（1） いる」と答えた方にうかがいます。
支えて（助けて）くれる家族・親族や知人・友人などは、近くに住んでいますか。
（あてはまるもの1つだけ をしてください）

130人中



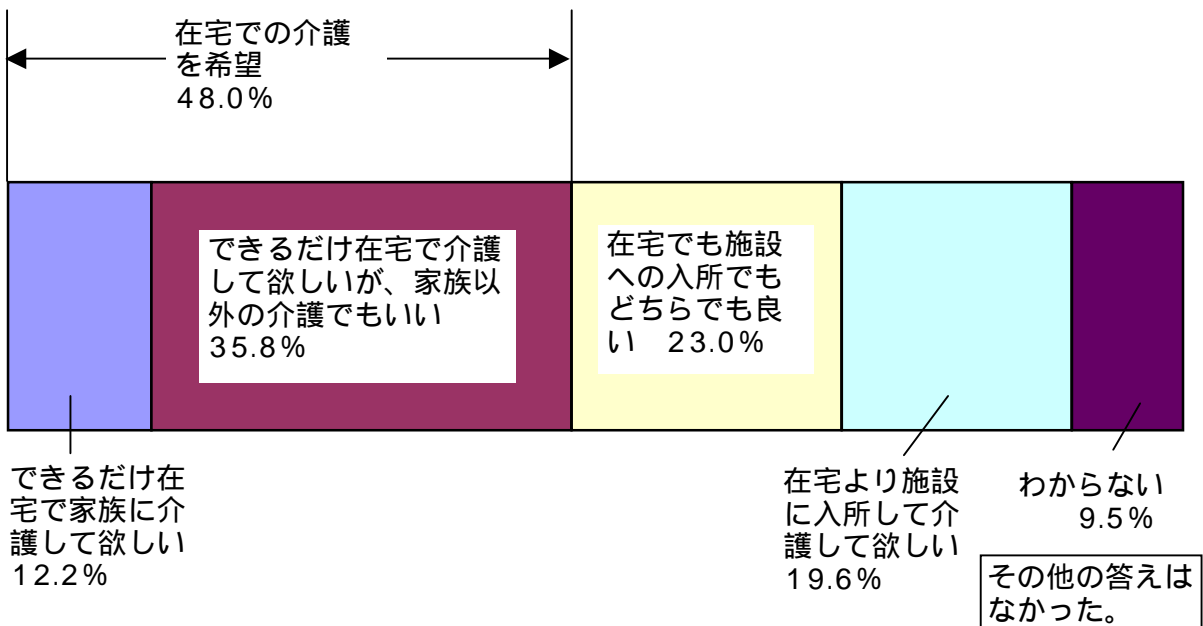
問7 自分が将来、介護を必要とする状態になることに、不安を感じることはありますか。
 (あてはまるもの1つだけをしてください)

140人中



問8 自分が将来、介護に必要になったとした場合、あなたは、どのような介護を希望しますか。
 (あてはまるもの1つだけをしてください)

148人中

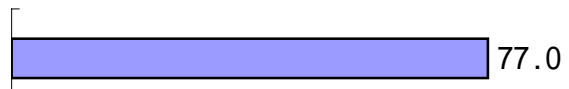


問9 介護保険のしくみで、知っていることについてお答えください。

(あてはまるものすべてに をしてください)

148人中

介護サービスを受けるには、介護の必要度について介護認定を受ける必要があること



40歳から64歳までの方は、健康保険料と一緒に介護保険料を納めていること



介護サービスを利用した場合、費用の1割を利用者が負担すること



健康保険に加入している40歳から64歳までの方と65歳以上の方全員が被保険者であること



65歳以上の方は、原則として年金天引きの方法で介護保険料を納めていること



介護保険は、足立区が運営していること



40歳から64歳までの被保険者は、老化が原因とされる病気(16種類の特定疾病)により介護が必要であると認定された場合に、介護サービスを利用できること



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 %

問10 介護保険制度が始まったことによる効果や変化をどのように感じていますか。

(あてはまるものすべてに をしてください)

148人中

保険料の支払により、負担が増えたと思う



介護に対する不安が軽減されたと思う



介護が必要になっても、住み慣れた家庭や地域で引き続き生活をしていくことができるようになったと思う



1割の利用料で介護サービスが利用できることで介護の負担が軽減されたと思う



多くの民間事業者が介護事業に参入したことにより、介護サービスの量が確保されたと思う



よくわからない



その他



0 10 20 30 40 50 60 %

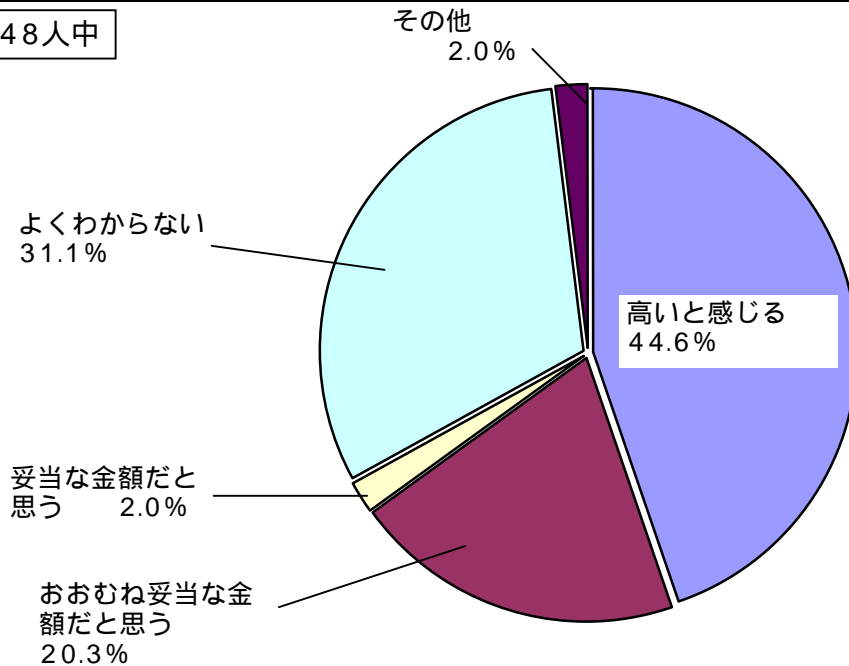
その他

・自治体の役割が大きくなる

問11 介護保険料について、あなたはどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つだけ をしてください)

148人中



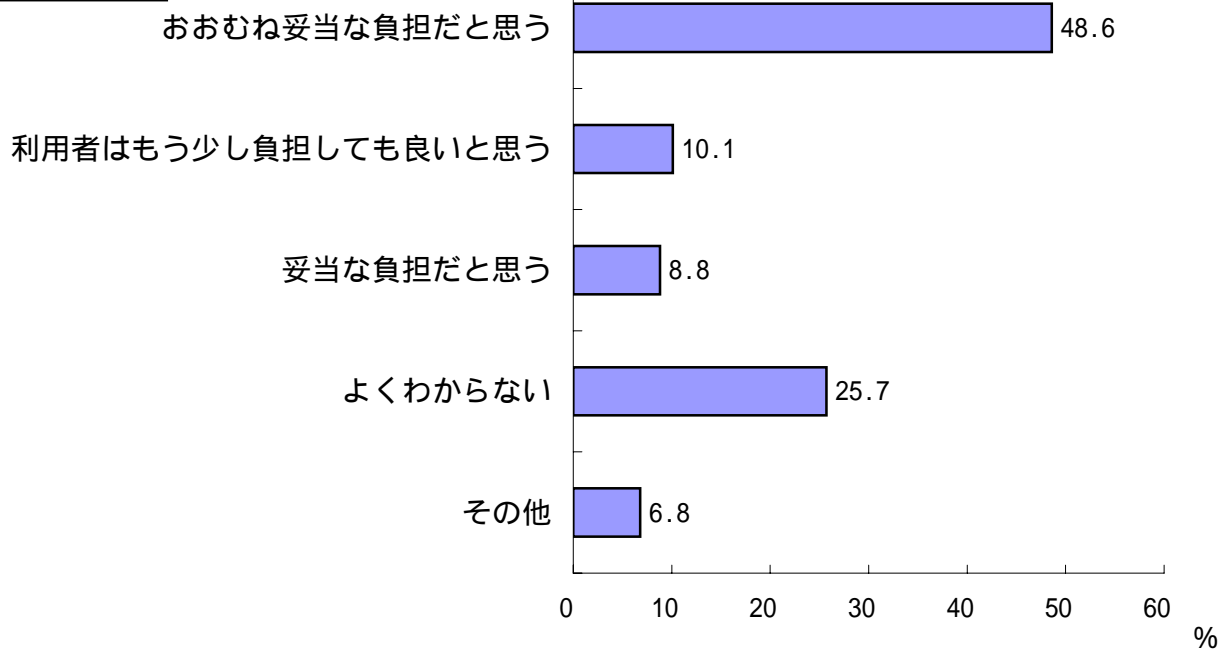
その他

・自治体の役割が大きくなる・今のところ妥当だと思うが、今後高くなるのではないかと不安・いくら払っているのかわからない・少ない

問12 介護保険サービス利用時の負担(1割)について、あなたはどのように感じますか。

(あてはまるもの1つだけ をしてください)

148人中

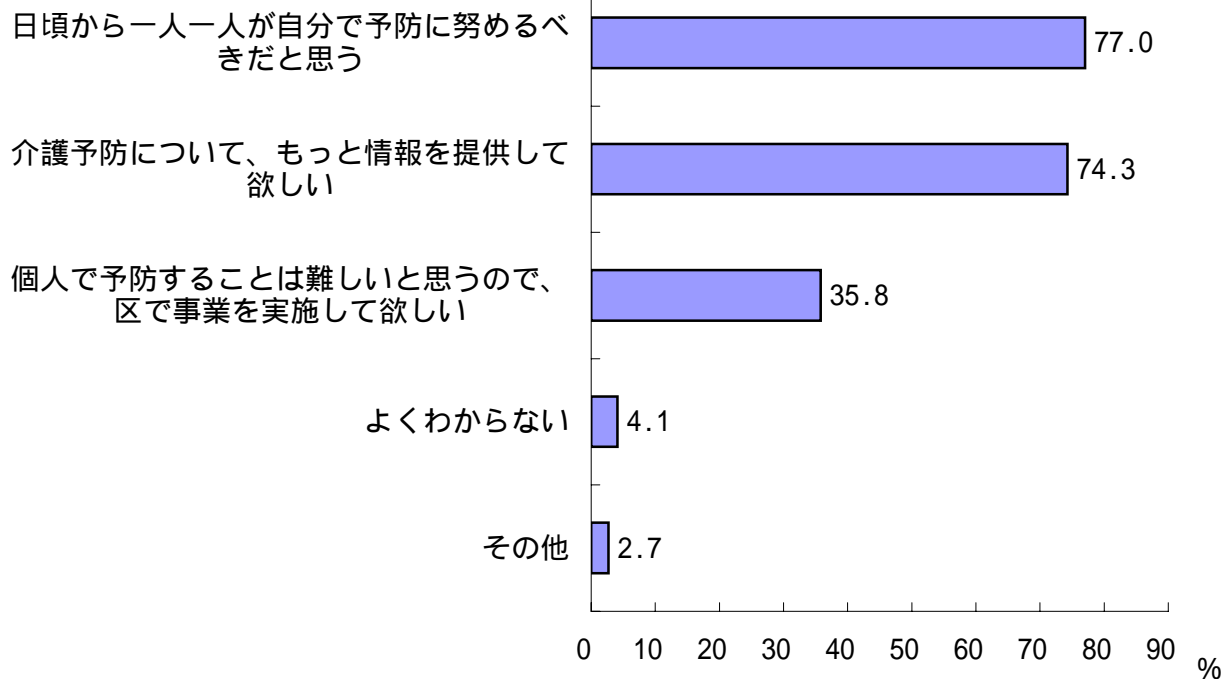


その他

・低年金の方には大きな負担・もっと負担を少なくしてほしい・介護保険料をずっと納めているのになぜ利用するときにも負担するのか・今後保険料を払った人は負担をなくしてほしい・無料ならば良いと思います・年金からの天引きに不満・独居の場合、年金で賅っていただけるのだろうか

問13 介護予防（介護状態にならないよう予防すること）について、あなたはどのように考えますか。
（あてはまるものすべてに_をしてください）

148人中

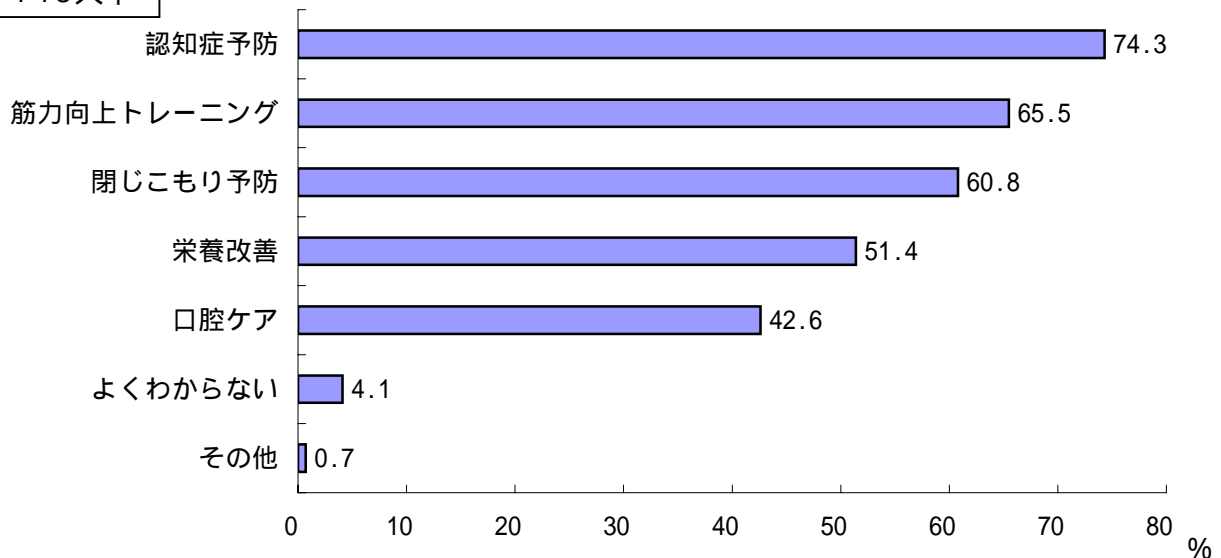


その他

・区が高齢者一人一人の状況を把握し、早めに手助けできるシステムがあるといい・本人と家族でよく話し合う・65歳以上に高齢者には常に予防の指導をすべき・各住区センターを核にして予防施策を実施すべき

問14 あなたやあなたの家族が介護予防（介護状態にならないよう予防すること）事業に参加するとすれば、どのような事業に参加しよう（参加させたい）と考えますか。
（あてはまるものすべて_をしてください）

148人中

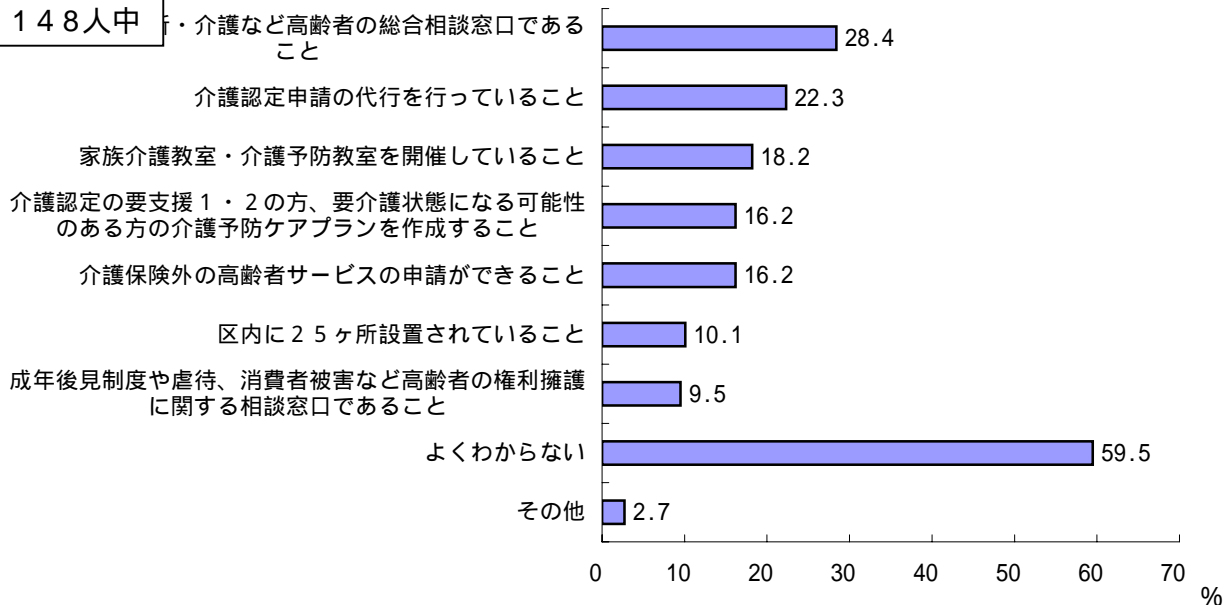


その他

・区が相談役になってほしい

問15 区内の介護の中核施設である地域包括支援センターの業務等について知っていることをお答えください。
(あてはまるものすべてに_をしてください)

148人中

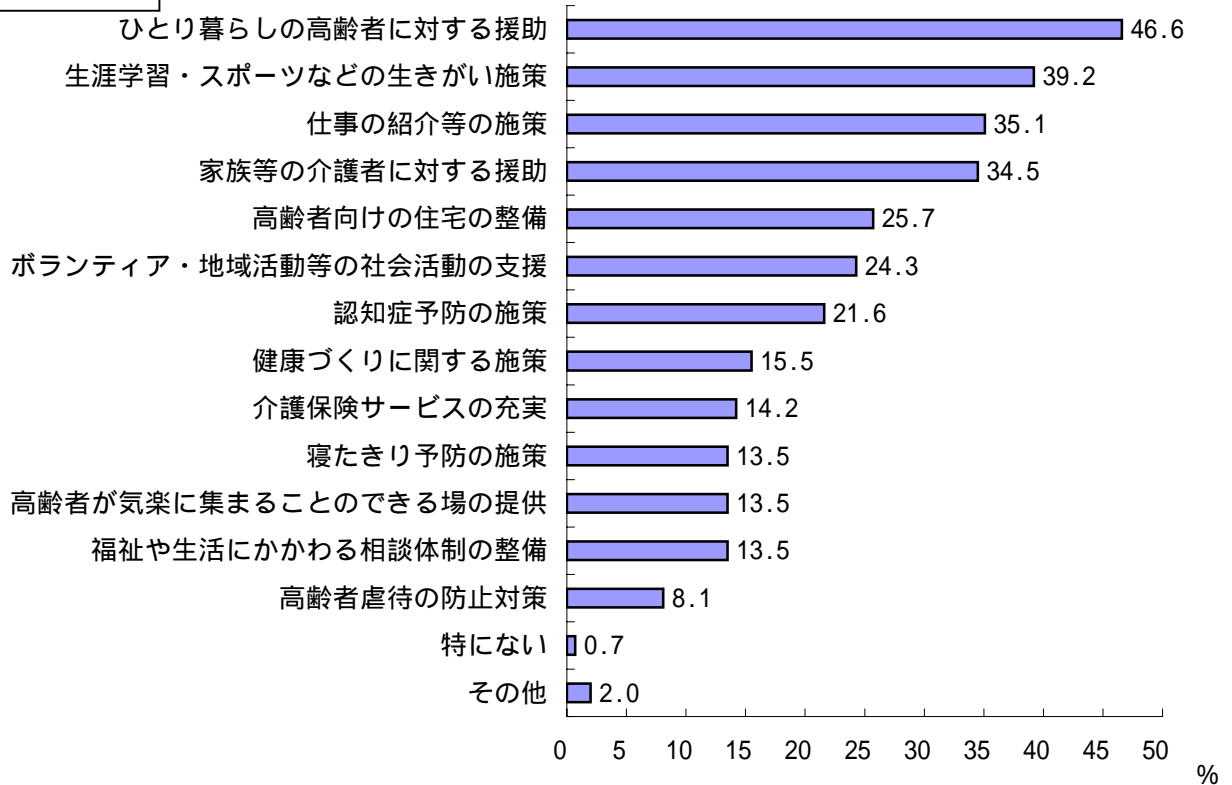


その他

・(地域包括支援センターについて)全く知らない・地域包括支援センターとは何か・今回初めてその存在を知りました

問16 あなたは、区に対して、どのような高齢者施策の充実をお望みですか。
(特にあてはまるもの3つに_をしてください)

148人中



その他

・介護施設で介護する人の質を向上して欲しい・現状のままでもかなり充実していると思う・収入の少ない方は介護保険料の天引きを軽くして欲しい

問17 最後に、介護と介護予防について、区へのご意見・ご要望などがありましたら、お聞かせください。(自由意見)

年代	性別	問14(自由意見)
20代	女性	私も私の両親もまだ若く、介護に関する知識が全くありませんでした。しかし、介護に関する情報を得る必要があると感じました。これからもわかりやすい事業の説明を期待しています。
20代	女性	私が介護を受けるまでにはまだ時間がありますが、充実した区になるようがんばって欲しいと思います。
20代	女性	近くに両親が住んでいるので両親のことを考えるいいきっかけになりました。
20代	男性	特別養護老人ホームを増やして欲しいです。
20代	女性	介護に関するサービスや仕組みが日々改善されているのだと知りました。このまま高齢化が進むといざ自分たちが介護を受けるときにどんな体制になっているのか、破綻してしまうのでは、ととても心配です。柔軟にどんどん良い仕組みにして欲しいです。
30代	女性	介護される人のケアはもちろんですが、介護する側の負担(精神的、金銭的、肉体的)をできるだけなくすような制度をもっと確立して欲しいです。高齢化でお年寄りがお年寄りの介護をする状況になりかねないので、できるだけひとりでも生活ができるような安心感を持ちたいです。
30代	男性	自分はまだ30歳であるが、決して他人事ではないと感じています。正直良い印象は受けていません。改善して更にいい制度にしていただけたらと思っています。年金から天引きされていることは初めて知りましたが、多くない年金から引くのではなく、税金の無駄遣いをやめて財源を確保して欲しいと思います。
30代	女性	介護予防の取り組みがいろいろなされているようですが、参加するのは意識が高く、パワーもある方々なのは、情報に関して無関心な人がいると思うのでそのような方をサポートすることが必要だと思う。民生委員の方、保健センターの方などが個別に対応することが、できると良いのではないのでしょうか。
30代	女性	あまり介護について考えたことはなかったが、介護する方、される方の負担にならないように、区で様々な事業を実施して欲しい。
30代	女性	私の義理の両親は障害1級、認知症、アルコール依存で介護が必要になってきているが、生活はできているので本人に自覚がなく、保健センター等で行っている講習会等に参加する意欲はない。こういう人たちの対策を考えてほしい。また、介護をするようになったときには子どもたちの保育園入園を優先し、家族介護手当ても充実して欲しい。
30代	女性	近い将来介護をする立場になると思いますが、その為に「何を知り」「予防」「準備」すればいいのかわからない。このようなことを知る機会を設けて欲しいと思いました。
30代	女性	学校の授業で高齢化問題を取り上げたり、ボランティアで老人ホームを訪問するなど、若いうちから問題意識を持たせる事も必要ではないのでしょうか。
30代	女性	介護保険制度が導入されたが、まだ現実とサービスがかけ離れているように思う。介護認定度が上がれば必要なサービスが1割負担の枠ギリギリあるいは超えてしまい、介護者の負担が大きくなる。また、24時間介護を必要とする人を支える家族の負担を軽減することが現行制度では難しい。自分の老後が不安である。
30代	女性	介護者の精神的・肉体的な疲れが大きいと思うので支えてくれるようなあたたかいサービスがあると良いと思う。介護をしながら相談をしに出向くのは難しいと思われるので訪問してくれると心強いです。区に助けてもらえたらと思います。
30代	女性	区で負担していただかないと若年層、老年層はますます負担が重くなり生活そのものが苦しくなりかねません。利用する側も提供する側も均衡が取れるよう平等な立場でサービス・制度を改定して欲しいと思います。
30代	女性	まだよくわかりません。
30代	女性	子どもに頼らず自立して生きる老後を考える講座などを開いて欲しい。介護サービスを利用して子どもたちの負担にだけはなりたくない。自分自身も姑の面倒を見るのは嫌なので。今もなお、家庭の中の仕事は女の負担がかかる世の中だと思う。
30代	女性	介護者の苦労を軽減するための、すぐにも頼める交代要員制度があるといいと思う。愚痴を聞いてあげるだけでも介護者の気持ちが楽になるはず。
30代	女性	介護が実際どのようなものかは経験がないとなかなか理解できないと思います。介護が必要になったとき相談に乗って説明していただける窓口があると良いと思います。

30代	女性	意見といわれても実態そのものがわかりません。もっと具体的にPRすべき。写真入のあだち広報などイメージがつかめてわかりやすい。利用者の声なども聞きたい。また、災害時の対策などはどうなのか。ボランティアなどの組織作りや支援が必要な方のリスト化、避難所の確保状況などあだち広報で知らせて欲しい。
30代	女性	まだよくわからない。施設は待機者が多く、介護疲れで子どもの負担も大きい。大きな負担を感じる。
30代	女性	足立区はお年寄りが多く、この先もっと増えることも考えられるので対策が必要になると思う。対象となる人たちから意見を吸い上げて活かしてもらいたいと思う。
30代	女性	できるだけわかりやすい資料を発行して欲しいと思います。
30代	女性	介護についての情報を広報や折込チラシなどでわかりやすく教えて欲しい。
30代	女性	介護問題はこれから高齢者が増えていく中でとても重要だと思います。自分自身でも健診を受けたり運動不足にならないよう気をつけたいと思う。
30代	女性	親が祖父母の介護をしていたことを思い出します。介護をする側の家族をケアする対策と、収入の多い少ないに関わらず平等に援助する区政をお願いしたい。
30代	女性	まだ介護について実感がわからない、というのが正直なところです。もっと細かい内容をわかりやすく区民に伝えていただきたいと思います。
30代	女性	同封されていた介護保険のパンフレットを初めて見たので、できれば全家庭に配付したほうが良いと感じました。
30代	男性	まだ介護する側にも、される側にもなっていないのでよく実態がわかりません。これから少子高齢化社会になるので援助やサービス施策が充実した足立区になってもらいたいです。税金や保険料等は高所得の方に多く負担していただきたいと考えます。
30代	女性	これから高齢化社会が進んでいく中で、災害が起きたときにすぐ回りの人たちが助け合うなどもっとわかりやすく身近な私たちにできることはないか。医療の負担も少なくし、弱者の切捨てではなく、平等な暮らしや介護ができるようになって欲しい。
30代	女性	これから先も重要な内容だと思います。私自身介護について知らなかったと痛感しました。
30代	女性	予防がある程度わかるのであれば教えて欲しいと思う。
30代	女性	介護される側よりする家族は大変だと思う。どちらも高齢だと大変だと思うので区としてどう援助できるのか考えて欲しいです。
30代	女性	ボランティアで使えるサービスをもっと増やし、紹介して欲しい。
30代	男性	親も高齢になり、いつ介護を必要とするかわからないので介護に対する知識・援助などの情報をアピールして欲しい。近日、認知症が原因と思われる自動車事故が多発していますがそれに対する制度改革や呼びかけは必要であると思います。
30代	女性	介護と予防について知らないことが多くて反省しています。もっともっと区で若い人たちにも知らせて勉強したらなんて思いました。
30代	女性	実際に介護する側になったとき金銭面でも精神的な面でも負担や不安が大きいので介護する側のケアや援助も必要だと思う。
30代	女性	私は今30代ですが、いつか老いを迎えるときのためにも介護の知識を身につける必要性を感じました。地域包括支援センターの役割などは全くわかっていませんでした。内容が難しいのであだち広報などで「身近な介護」として毎掲載せてもらえると様々な世代が少しでも関心を持ち、知る機会が得られる気がしました。
30代	女性	高齢者の人口が増え、一人暮らしの高齢者も増える一方、病院がつぶれたり3ヶ月という期限を設けたり安心して医療も受けられないと思う。介護給付費も増えているようで、自分たちのときにちゃんとサービスが受けられるのか心配です。
30代	女性	足立区は頑張っていると思います。私は介護のケアマネージャーの資格を持っていますが、かなり改善されています。今後も増える高齢者。区民全体が関わることが大事なので、広報は大切な情報源だと思います。
30代	女性	弱いものの立場にたったの援助などを希望します。
30代	女性	介護する側の介護方法の指導を区でしてくれるとうれしいなと思う。
40代	女性	高齢者がどんどん増えているので、介護のことはもちろんですが、一人一人がどのように予防すればいいのか、センターなどで集まれる場所を増やすなどして欲しいと思います。
40代	女性	財政難という理由ばかりで区民から徴集ばかりしていないでもう少し工夫できないか。予算に合った介護事業をしてほしい。
40代	男性	区の予算をもっと多くしてはどうか。

40代	女性	誰もが気軽に行くことができ、そこでいろいろな情報を得られるサロンみたいなものがあると良いと思う。
40代	女性	現在は元気で生活していますので介護について切実に考えたことはありませんが、将来は血のつながった人にお世話をしたいです。(お互いによく相談した上で)。
40代	女性	介護支援が色々と受けられる人は良いと思うが、認定を受けられないと家族に迷惑がかかるし、介護サービスや事業者の利用料金等明確でないし、安心して本当に任せることができるのか心配です。
40代	女性	自分が老いたときをなかなか想像できないが、身近に感じながら考えていきたい。
40代	女性	介護は実際に携わらないとどんなに大変かわからないもの。体験例や対策(相談場所など)を区民みんなが知っているべき。その為には広報を充実させることが大事。介護を受ける側の1割負担は年金暮らしの世帯には厳しいかも。
40代	女性	将来のことを真剣に考えさせられるきっかけになってよかった。区でできることがあればアンケートを参考にされて活かして欲しいです。早急にできれば利用者の方も助かると思いますが。
40代	女性	介護保険料は健康保険料と共に納めていますが健康保険料を支払っていない人たちはどのように保障されるのでしょうか。まだまだわからないことばかりです。高齢化社会でこれからの子どもたちの負担を考えてしまいます。
40代	女性	実家の母が認知症になり、ショートステイとロングステイでの生活を送り、入所できないときは介護されています。並大抵でない苦勞です。介護保険がもっと早くあったらよかったのにと実感しています。
40代	女性	私は一人娘で、両親は神奈川県に住んでいて離れているので、もしどちらかが倒れたらと考えると少し不安です。幸い両親とも元気にスポーツセンターへ通っているので樂觀視しているところもありますが、忍び寄る親の老いを見つめなおさないと、と思っている最中です。
40代	女性	高齢化が進みいつ私たちも介護が必要になるか分からないので介護保険の仕組みや介護についての知識をもっと収集しなければいけないと改めて感じました。
40代	女性	介護サービスを受けていない元気なお年よりもボランティアとして介護予防教室に参加するなど、集う機会を増やしていくと良いと思う。
40代	女性	介護する家族、特に女性に負担がかかることが多いので介護保険を使ってケアできるのはありがたいです。
40代	男性	医療保険と介護保険の境目の見極めが難しい。入院により環境が変わり、認知症がひどくなり、付き添いが必要でも「医療」であり介護保険のヘルパーは使えない。高齢者の入院の際は医療と介護の双方の相談ができるといい。
40代	女性	ヘルパー資格を取得したばかりのとき、至れり尽くせりだったこともあるが、糖尿病の利用者に対し怒りに似た感情が芽生えた。発症する前の生活を垣間見ると、高カロリーのものばかりで、部屋も散かり、楽を求めているほうが多かった。
50代	男性	介護の実話を広報などに掲載して欲しい。
50代	女性	健康づくりに関してのかかわりが大切だと思います。ここに取組み方を選べると楽しく長続きできると思います。一人でも取り組みが簡単にできるゲームとかスポーツ等遊び感覚で取組める内容があると良いですね。
50代	女性	介護のことはわかっても詳しいことは良くわからず。学習の場を地域で設けて欲しい気もします。介護される人を受け入れられる施設、及び老人ホーム(安価で入所できる場所)を多く建てて欲しい。
50代	女性	これから高齢化、少子化が進みバランスの取れないひどい時代になると思うが、区はそれを見据えて頑張ってもらいたい。
50代	女性	寝たきりにならないように、介護の世話にならないように、区でもっと健康診断を増やして欲しい。
50代	女性	介護を受ける人や認知症にはなりたくないと思っていますが、良い予防策があればと思っています。
50代	女性	世の中には収入が少なくやっと生活している方々がたくさんいます。税金も高くおまけに介護保険料も高く。払えない方々はどうすればいいのでしょうか。何か格差がありすぎです。保険料が払えない方の相談窓口を作って欲しいです。
50代	女性	同封されていた「みんなで支えあおう介護保険」はとてもわかりやすく保存しておくべき資料でした。今はまだ先のことと思う方も知っておいたほうが良いと思います。区として身近に手に入る又は配付の方法を検討していただけたら、と思いました。

50代	女性	老人介護施設をもっと増やしてほしい。理想としては家での介護が一番だと思うが現実にはなかなか厳しいものがある。デイサービス等も充実させて欲しい。家族の負担を減らして欲しいです。
50代	女性	65歳以上の年金生活者からの介護保険料納入についてはもう少し配慮してほしいと思います。また、保険料の決まり方の中で第6段階と第7段階の本人の合計所得金額の差が400万円ですが、差がありすぎると思います。間に400万円以上の段階があっても良いのではないですか。どちらにしても高齢者を大事にして欲しいと思います。
50代	女性	区の職員に対する要望です。待遇があまり良くないのが気になりました。介護保険のことで福祉事務所へ問い合わせましたら「こっちはじゃないですよ、それは！」ですって。サービスの意味を職員に再度研修して欲しいと思いました。職員を指導する立場の上司に一番必要なの shouldn't でしょうね。職員を指導し切れていないのですから。
50代	女性	介護・介護予防の年齢が近づいてきて不安です。避けて通れないのでよろしくお願ひします。
50代	女性	介護が必要になったときに「どこへ相談するか」すぐに答えられる区民がどれだけのいるか疑問を感じます。介護を受けられるのに情報が少なく知らない人も多いのではないかと思います。情報を区民にどしどし送って欲しいと思います。
50代	女性	これからはもっとも必要時代になるので安心して暮らせる場が欲しい。介護される側、する側の心のケアが必要だとも思う。
50代	女性	定年後の、比較的若い高齢者の方に介護のサービスをしてもらって、された側はわずかでもお茶代を差し上げると、もっとも双方に楽しみが増すと思います。
50代	女性	介護が必要にならないように予防が大切です。日頃から食生活の改善や体を動かすことを心がけ、年1回定期健康診断を受けるように区民に知らせる。健康診断や介護講習、趣味の教室は土日に行って欲しい(家族が付き添ってあげられるため)。
50代	女性	子どもに介護を希望するのは忍びない。けれど一人暮らしは不安。財産などそれほでないので高級老人ホームには入れない。将来を考えると暗い気持ちになりますが、今からどうする事もできないので、今を楽しく生きようと先のことには目をつぶってしまいます。
50代	男性	健康なときには介護等に関心は少なかったのですが、病気になった現在、介護の大切さが身にしみています。特に人との交流が大事だとつくづく思います。
50代	女性	これからは今まで以上に独居老人が増えると思いますので、その対策を考えて欲しい。
50代	男性	介護と介護予防に関して、区ならではの目標と支援策の展望が望めます。母親を介護する友人の話では自由に利用できるトイレが少ない、自由に昼食を取れる場が欲しいとのこと。地域の施設や商店がトイレや食事を自由に受け入れ、小中学校や寺社、教会を含めた広範囲の諸施設の連携ができれば素晴らしいと思う。
50代	女性	81歳の母は国民年金の2か月分、6万円くらいのうちから介護保険料4600円くらい引かれています。少ない年金の中から介護も受けたことがないのに毎回天引きされてかわいそうです。制度をもう少し考えて欲しいと思います。
60代	女性	あまり介護に区からの援助等をして欲しくない。介護を受ける人たちからもある程度金銭的な面で格差を設けて徴集して欲しい。これからの若い人たちが国または自分たちの住んでいるところからの金銭的負担が多くなりそうな気がして仕方がない。
60代	男性	健康を守るためのスポーツ施設、生涯学習センターを利用して介護を受けない生活をしたいと思っています。つきましては各施設の料金を以前みたいに無料にしてください。足立区の考えは逆行しているみたいですので。
60代	男性	特別養護老人ホームに個室は不要。超大部屋にして希望者全員を入れるべきである。
60代	女性	介護は家族の負担が大きく長い期間負担になってまいります。そんな時相談できる場があると家族は救われると思いますし、誰でも利用し予防に関する知識を学ぶことができると思います。今後増大する中一人一人が予防することに知恵を働かせたらと思います。
60代	男性	住区センター等で高齢でも社会の中に入って行きたい人たちをボランティアとして受け入れて欲しい。我々の世代は自分が認められたい、という意識が強いので、意識を向上させることにつながるのではないかと考えます。
60代	男性	介護保険料が高い。
60代	女性	介護予防について知らない人が多く見られます。介護保険料の通知に介護予防について最小必要限度知って欲しいことをまとめたチラシを同封して広報活動してはいかがでしょうか。

60代	女性	身体・心の健康が少しでも続くよう、何事にも興味を持って望みたいと思います。
60代	女性	介護にならない様なスポーツ、無理のない仕事など必要。センター、町会、集会所など話し合う機会が多くできればと思います。そして閉じこもりが少なくなればと思います。外に出たい方も多い。体も心も動かし介護にならない様にしたいです。家族の介護費はもう少し多ければと思います。
60代	男性	個人財産を区に提供し、死亡するまでどのような暮らしが保障されるのか、などの相談と実施の機関があれば。
60代	女性	今あんしん協力員傾聴ボランティアをやっていて、一人暮らしの声かけを3名の方に行っています。私のいる地区ではボランティアは私一人で困っています。独居老人が多くすごく心配です。区の講座も2004年から3回受けましたが打ち切られました。これからは周りの力を借りて地域で活躍できたらと考えています。
60代	女性	介護を受けたくても受けられない人がいると思いますが、皆が受けられるようにして欲しい。(経済的やその他の理由で受けられない人がいると思います)。介護を受けている人に意見を聞いて現状を把握して欲しい。
60代	女性	地域でもボランティア活動が始まり、お年寄のお世話に協力する人が多くおられると思います。サービスとして自分が協力した分、家族に協力してもらえらるようなシステムができれば、ボランティア活動にハリができるのではないのでしょうか。
60代	女性	若者は高齢者を嫌い、自分たちだけの家庭を作り子どもは保育園へ行かせ満足な教育(しつけ)ができない。お互いの実家へも来ることがないという。これでは普段からの話し合いも行われず高齢者は可哀相だ。近所で助け合っていく事も必要だが、区でもたまには顔を出して近況を聞いてあげて欲しい。
60代	男性	今後益々高齢者が多くなることが予想されるので、健康で生活ができるような施策を期待します。
60代	男性	個々の健康管理・介護予防が大前提ですが、多くの高齢者は何らかの病気や障害で悩まされています。地域密着型の老人保健施設を増やしていただきたい。問16の12 高齢者が気楽に集まることのできる場について、町会会館や集会所の活動援助金を頂き、町会又は民営業者に運営を委託、区・介護保険・利用者で負担する。
60代	男性	70歳を過ぎても元気で過ごしている方が大勢いると思います。その人たちが介護のお世話にならず健康に過ごせるように区から予防等アドバイスしてくれたらいいと思います。
60代	女性	私は現在一人です。時々具合が悪いときとても不安になります。腰等今まで病気・手術と多いため、もっと働きたいと思いますが、先のことを考えると体が元気でないと、と考えます。自分自身一番良く知るべきことなのに他人事のように思っていました。
70代	女性	まだ現役で仕事をしているのでなかなか時間が許しませんが、地域包括支援センターをどんどん利用しようと思います。
70代	女性	千住竜田町の第6小学校跡地が10年以上そのままになっています。勿体無い限りです。跡地に老人の介護付マンションを建設して欲しいです(有料でもいいから)。空き地でどうして放って置いているのか理解に苦しみます。
70代	男性	高齢者が、その中でも一人暮らしのみの世帯が確実に増えています。年を取って一人になるのは淋しく不安で、介護まで必要となると生きる希望も失いかけてます。そういう方を対象とした特養をつくっていただきたい。また介護認定基準や審査が不明確であると聞きます。抜き打ち調査をやるなど徹底して頂きたいと思います。
70代	男性	毎回避難所運営訓練に参加していますが、参加者に高齢者が多く、一時避難場所まで行けるかという課題があります。災害はいつどのような形で起こるか判りません。近隣の自治体との連携体制の確立と、災害状況を早くつかみ救援活動を進めていくためのフローチャートを作ることが急務でしょう。
70代	女性	現在、趣味で週1回レクリエーション、ダンス、放送大学で日本文学を履修するなど、健康を保持するなど努力している。しかし転倒したり脳の病気になったら大変です。高齢者が増えています。区でも高齢者福祉の予算を増額して欲しい。
70代	女性	生涯学習など自分が得意なことなどが学べる場所が自宅より近いところできるだけ作って欲しい。いつも何かを学ぶために出かけられるようにして認知症にならないようにする。近くの学校を夜間使用できるようにして欲しい。

70代	男性	・ボランティア活動として高齢者が持っている技能を活かせる場の提供を積極的に講じて欲しい。・保険料の減免及び利用料の軽減措置についてPRして欲しい。・成年後見制度について具体的に周知して欲しい。・介護により家族関係が損なわれる状況も見られるので現行制度の問題点を検証して欲しいです。
70代	男性	家族が介護した場合の介護者に対する援助制度の確立。介護サービス利用者負担額の若干の引き上げ。介護に携わる人の待遇改善。介護サービスを利用しない保険証納入者で70歳以上の者は保険料を毎年1～2%下げていくメリット制の導入。但し利用を開始した場合はその翌月より基準の保険料に戻る。以上を提案します。
70代	男性	制度に関する事情(国と区で違いがあるのかなど)が、いまいちはっきりわかりません。
70代	男性	高齢者への心のケアを重視すべきである(特に一人暮らし)。高齢者相談士を設け、任命すること。定期的に家庭訪問すべきこと。
70代	女性	介護と要支援はどのくらいまでお願いできるのでしょうか。足の変形病で靴を履くことも辛いときがある。他に内科的に発作を起こすこともあるが、支援の認定を受けていてもヘルパーさんの行為でしてくれるのも駄目と言っているのです。どんな予防をお願いしたらいいのでしょうか。頼むのも後ずさりします。
70代	女性	いい加減に生きてきて、年を取ったら介護してくれと言う人が多いのではないかと。家庭でのしつけが、あるいはご近所での見守りが大事だと思うが、今の世の中では期待できないので、学校で教えることが重要になる。先生は大変だろうが汗を流してもらうかなさそうだ。善悪の基準を教える宗教を否定してきた結果が今の日本だと思う。
70代	男性	身近に介護サービスを受けている方がいないので介護の実情はわかりませんが、介護予防に関することは非常に関心を持っており、各種の予防事業に積極的に参加している。今後とも予防事業の、より一層の充実に取り組んでいただきたいと願っております。
70代	女性	介護を受けなくても済むような人になるように、予防第一で元気に過ごせるように、70代でもできる人のためになる仕事をして、それで収入を少しでも得られたら益々元気に生きていけると思うのですが。
70代	男性	アンケート冒頭の参考の内容を見て驚きました。人間生きている限りその基本は自助努力だと思います。行政に支援を要求することも必要ですが、支援のレベルが高じて利用者の負担となって振りかかることもあると思います。
70代	女性	参考資料を読みましたが、一人暮らしの高齢者が毎年多くなっております。年を取ると閉じこもりがちになりますが、予防として趣味の教室や会話を楽しむ場を設けて欲しいです。空いている学校の教室等を使わせてくだされば良いのではないかと。
70代	男性	各住区センターを活用してもっと介護と予防についての話の機会を設けるべき。PR活動が少ない。地域包括支援センターは全然聞いたことがない。もっとPRしてください。
70代	男性	益々の高齢化の進展と医療費の増大を考えて、延命治療の限界及び安楽死に関してコンセンサスは必要ではないでしょう(人間としての尊厳の維持のため)。
70代	女性	最後まで自分のことは自分でやるつもりですが、どうしても経済的なことや介護のことで限界を感じたとき、安心して頼れる場所、相談できる場所があればと思います。もう相談できる場所はあるのかもしれませんが承知しておりません。相談に乗っていただける方は実際に家族の介護を行った方であって欲しいと思います。

集 計 表

(%)

「介護と介護予防に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
回答者数(人)	147	32	115	58	89
問1 モニターの皆さまの健康について N = 1 4 7					
(1)非常に健康	16.3	12.5	17.4	24.1	11.2
(2)おおむね健康	71.4	75.0	70.4	67.2	74.2
(3)あまり健康ではない	8.2	6.3	8.7	5.2	10.1
(4)健康でない	4.1	6.3	3.5	3.4	4.5
回答者数(人)	148	33	115	58	90
問2 健康のため気をつけていること(複数回答) N = 1 4 8					
(1)栄養のバランスなど食事に気をつけている	69.6	60.6	72.2	69.0	70.0
(2)休養や睡眠を十分にとる	41.2	51.5	38.3	55.2	32.2
(3)規則正しい生活をしている	40.5	36.4	41.7	39.7	41.1
(4)散歩やジョギング、体操など日頃から運動をしている	20.9	30.3	18.3	8.6	28.9
(5)健康診断等を定期的に受けている	32.4	48.5	27.8	20.7	40.0
(6)歯や口腔の健康に気をつけている	15.5	18.2	14.8	15.5	15.6
(7)精神面での安定を心がけている	19.6	15.2	20.9	19.0	20.0
(8)酒やたばこを控えている	9.5	15.2	7.8	13.8	6.7
(9)閉じこもらないでなるべく外出するようにしている	18.2	12.1	20.0	25.9	13.3
(10)特に気をつけていない	4.1	-	5.2	6.9	2.2
(11)その他	2.7	9.1	0.9	3.4	2.2
問3 健康・介護に関する情報の入手先(複数回答) N = 1 4 8					
(1)あだち広報	81.8	84.8	80.9	70.7	88.9
(2)足立区役所ホームページ	8.8	12.1	7.8	6.9	10.0
(3)介護保険課や保健総合センター	10.1	12.1	9.6	10.3	10.0
(4)区民事務所や住区センター	14.2	21.2	12.2	10.3	16.7
(5)地域包括支援センター	5.4	9.1	4.3	3.4	6.7
(6)病院	38.5	39.4	38.3	44.8	34.4
(7)社会福祉協議会	1.4	-	1.7	-	2.2
(8)民生委員	-	-	-	-	-
(9)新聞・テレビ・ラジオ・雑誌	79.7	84.8	78.3	77.6	81.1
(10)友人・知人	39.9	27.3	43.5	48.3	34.4
(11)その他	5.4	-	7.0	6.9	4.4
問4 健康・介護に関して知りたいこと(複数回答) N = 1 4 8					
(1)糖尿病や高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について	52.0	60.6	49.6	50.0	53.3
(2)食生活の改善について	48.0	27.3	53.9	53.4	44.4

集 計 表 (%)					
「介護及び介護予防に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(3)運動の方法について	36.5	39.4	35.7	32.8	38.9
(4)健康診断の内容や受け方などについて	43.2	39.4	44.3	60.3	32.2
(5)歯や口腔の健康について	19.6	18.2	20.0	25.9	15.6
(6)介護予防（介護状態にならないように予防すること）について	50.0	51.5	49.6	31.0	62.2
(7)認知症の予防について	32.4	57.6	25.2	17.2	42.2
(8)特にない	2.0	3.0	1.7	1.7	2.2
(9)その他	1.4	3.0	0.9	1.7	1.1
問5 支えてくれる家族・知人の存在 N = 1 4 8					
(1)いる	87.8	87.9	87.8	86.2	88.9
(2)いない	12.2	12.1	12.2	13.8	11.1
回 答 者 数 (人)	130	29	101	50	80
問6 支えてくれる家族・知人との距離 N = 1 3 0					
(1)同居している	50.8	65.5	46.5	46.0	53.8
(2)近所に住んでいる	23.1	20.7	23.8	26.0	21.3
(3)近所ではないが、行き来できるところに住んでいる	19.2	13.8	20.8	18.0	20.0
(4)行き来できるところには住んでいない	6.2	-	7.9	8.0	5.0
(5)その他	0.8	-	1.0	2.0	-
回 答 者 数 (人)	140	30	110	54	86
問7 介護を必要とする状態になることへの不安 N = 1 4 0					
(1)ある	56.4	60.0	55.5	44.4	64.0
(2)どちらかといえばある	30.0	33.3	29.1	44.4	20.9
(3)どちらかといえはない	6.4	-	8.2	1.9	9.3
(4)ない	2.1	-	2.7	3.7	1.2
(5)わからない	5.0	6.7	4.5	5.6	4.7
回 答 者 数 (人)	148	33	115	58	90
問8 介護療養先及び介護する方についての希望 N = 1 4 8					
(1)できるだけ在宅で家族に介護して欲しい	12.2	18.2	10.4	17.2	8.9
(2)できるだけ在宅で介護して欲しいが、家族以外の介護でも良い	35.8	30.3	37.4	36.2	35.6
(3)在宅でも施設への入所でもどちらでも良い	23.0	24.2	22.6	25.9	21.1
(4)在宅より施設に入所して介護して欲しい	19.6	24.2	18.3	8.6	26.7
(5)わからない	9.5	3.0	11.3	12.1	7.8
(6)その他	-	-	-	-	-
問9 介護保険制度について知っていること（複数回答） N = 1 4 8					
(1)健康保険に加入している40歳から64歳までの方と65歳以上の方全員が被保険者であること	48.0	57.6	45.2	32.8	57.8

集 計 表

(%)

「介護及び介護予防に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(2) 40歳から64歳までの方は、健康保険料と一緒に介護保険料を納めていること	58.1	54.5	59.1	53.4	61.1
(3) 65歳以上の方は、原則として年金天引きの方法で介護保険料を納めていること	45.9	66.7	40.0	20.7	62.2
(4) 介護サービスを受けるには、介護の必要度について介護認定を受ける必要があること	77.0	81.8	75.7	60.3	87.8
(5) 40歳から64歳までの方は、老化が原因とされる病気（16種類の特定疾病）により介護が必要であると認定された場合に介護サービスを利用できること	27.0	30.3	26.1	20.7	31.1
(6) 介護サービスを利用した場合、費用の1割を利用者が負担すること	56.8	66.7	53.9	36.2	70.0
(7) 介護保険は、足立区が運営していること	34.5	51.5	29.6	17.2	45.6
問10 介護保険制度開始に伴う効果（複数回答） N = 148					
(1) 介護に対する不安が軽減されたと思う	38.5	57.6	33.0	24.1	47.8
(2) 保険料の支払により、負担が増えたと思う	54.1	51.5	54.8	51.7	55.6
(3) 1割の利用料で介護サービスが利用できることで介護の負担が軽減されたと思う	27.7	42.4	23.5	10.3	38.9
(4) 介護が必要でも、住み慣れた家庭や地域で引き続き生活をしていくことができるようになったと思う。	33.1	48.5	28.7	13.8	45.6
(5) 多くの民間事業者が介護事業に参入したことにより、介護サービスの量が確保されたと思う。	25.7	36.4	22.6	13.8	33.3
(6) よくわからない	29.1	24.2	30.4	44.8	18.9
(7) その他	1.4	3.0	0.9	-	2.2
問11 介護保険料について思うこと N = 148					
(1) 妥当な金額だと思う	2.0	-	2.6	3.4	1.1
(2) おおむね妥当な金額だと思う	20.3	33.3	16.5	12.1	25.6
(3) 高いと感じる	44.6	45.5	44.3	31.0	53.3
(4) よくわからない	31.1	21.2	33.9	50.0	18.9
(5) その他	2.0	-	2.6	3.4	1.1
問12 介護保険サービスの利用者負担について思うこと N = 148					
(1) 妥当な負担だと思う	8.8	15.2	7.0	8.6	8.9
(2) おおむね妥当な負担だと思う	48.6	51.5	47.8	36.2	56.7
(3) 利用者はもう少し負担してもいいと思う	10.1	12.1	9.6	8.6	11.1
(4) よくわからない	25.7	18.2	27.8	37.9	17.8
(5) その他	6.8	3.0	7.8	8.6	5.6
問13 介護予防について思うこと（複数回答） N = 148					
(1) 日頃から一人一人が自分で予防に努めるべきだと思う	77.0	90.9	73.0	69.0	82.2
(2) 個人で予防することは難しいと思うので、区で事業を実施して欲しい	35.8	30.3	37.4	31.0	38.9
(3) 介護予防について、もっと情報を提供して欲しい	74.3	84.8	71.3	75.9	73.3
(4) よくわからない	4.1	3.0	4.3	1.7	5.6

集 計 表

(%)

「介護及び介護予防に関するアンケート」	全員	性別		年齢別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(5)その他	2.7	6.1	1.7	1.7	3.3
問 1 4 参加したい介護予防事業（複数回答） N = 1 4 8					
(1)口腔ケア	42.6	30.3	46.1	41.4	43.3
(2)栄養改善	51.4	42.4	53.9	50.0	52.2
(3)筋力向上トレーニング	65.5	57.6	67.8	51.7	74.4
(4)認知症予防	74.3	78.8	73.0	69.0	77.8
(5)閉じこもり予防	60.8	57.6	61.7	56.9	63.3
(6)よくわからない	4.1	6.1	3.5	5.2	3.3
(7)その他	0.7	-	0.9	-	1.1
問 1 5 地域包括支援センターの業務について（複数回答） N = 1 4 8					
(1)区内に25ヶ所設置されていること	10.1	18.2	7.8	-	16.7
(2)介護認定申請の代行を行っていること	22.3	36.4	18.3	5.2	33.3
(3)福祉・施設入所・介護など高齢者の総合相談窓口であること	28.4	45.5	23.5	10.3	40.0
(4)介護認定の要支援1・2の方、要介護状態になる可能性のある方の介護予防ケアプランを作成すること	16.2	21.2	14.8	3.4	24.4
(5)家族介護予防・介護予防教室を開催していること	18.2	18.2	18.3	8.6	24.4
(6)介護保険外の高齢者サービスの申請ができること	16.2	21.2	14.8	8.6	21.1
(7)成年後見制度や虐待、消費者被害など高齢者の権利擁護に関する相談窓口である	9.5	9.1	9.6	3.4	13.3
(8)よくわからない	59.5	54.5	60.9	79.3	46.7
(9)その他	2.7	6.1	1.7	1.7	3.3
問 1 6 今後区に望む高齢者施策（複数回答） N = 1 4 8					
(1)仕事の紹介等の施策	35.1	27.3	37.4	37.9	33.3
(2)生涯学習・スポーツなど生きがい施策	39.2	39.4	39.1	39.7	38.9
(3)ボランティア・地域活動等の社会支援の支援	24.3	15.2	27.0	24.1	24.4
(4)ひとり暮らしの高齢者に対する援助	46.6	33.3	50.4	48.3	45.6
(5)高齢者向けの住宅の整備	25.7	27.3	25.2	22.4	27.8
(6)高齢者虐待の防止対策	8.1	6.1	8.7	5.2	10.0
(7)健康づくりに関する施策	15.5	24.2	13.0	6.9	21.1
(8)寝たきり予防の施策	13.5	18.2	12.2	13.8	13.3
(9)認知症予防の施策	21.6	39.4	16.5	10.3	28.9
(10)介護保険サービスの充実	14.2	6.1	16.5	15.5	13.3
(11)家族等の介護者に対する援助	34.5	27.3	36.5	44.8	27.8
(12)高齢者が気楽に集まることのできる場の提供	13.5	15.2	13.0	10.3	15.6
(13)福祉や生活にかかわる相談体制の整備	13.5	6.1	15.7	19.0	10.0
(14)特にない	0.7	3.0	-	1.7	-

集 計 表

(%)

「介護及び介護予防に関するアンケート」	全員	性 別		年 齢 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
(15)その他	2.0	3.0	1.7	-	3.3